

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会  
第 71 回 リスク専門部会 議事録

1. 日 時：2025年2月7日（金）13：30 ～ 15：25

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）高田(孝)部会長，桐本副部会長，竹下幹事，沼田幹事，水野幹事，山中幹事，江藤，  
佐藤(親)，佐藤(寿)，高田(毅)，廣川，丸山，吉田（13 名）

（代理出席）片桐康寛（倉本委員代理／原子力エンジニアリング），  
西野裕之（栗坂委員代理／日本原子力研究開発機構），  
菰澤貴之（田中委員代理／三菱重工業），  
浅野常時参加者（森山委員代理）（4 名）

（欠席委員）大鳥，柿木，武部，三輪（4 名）

（委員候補）玉置等史（日本原子力研究開発機構）（1 名）

（常時参加者）小城，鈴木，西村，濱口（4 名）

（説明者）【外的事象 PRA 分科会】片桐委員

【地震 PRA 作業会】根岸幹事，高橋委員，原口委員

【断層変位 PRA 作業会】酒井幹事

【津波 PRA 作業会】桐本幹事

【レベル 2PRA 分科会】山越幹事

【JIWG】西村コーディネータ（延べ 8 名）

（事務局）大沼，正岡，平野（3 名）

4. 配付資料（議事録末尾に記載）

5. 議事内容

事務局から開始時，委員総数21名中，15名が出席しており，成立に必要な定足数（14名以上）  
を満たしていることが報告された。

(1)前回議事録（案）について（RKTC71-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2)人事について（RKTC71-2）

事務局から資料に基づき，専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり，委員の退任等  
が確認され，審議の結果，委員の選任が決議された。

委員に選任された玉置様からご挨拶をいただいた。

【リスク専門部会】

◆決議事項

(1)委員選任

玉置 等史 日本原子力研究開発機構

◇確認事項

(1)委員退任

糸井 達哉

東京大学

2024.12.03

【分科会】

○レベル 2PRA 分科会

◇確認事項

(1)常時参加者登録解除

西村 健

原子力規制庁

2025.01.24

(2)常時参加者登録承認

関根 将史

原子力規制庁

○レベル 3PRA 分科会

◇確認事項

(1)常時参加者登録解除

森井 桂

日本原子力発電

2024.07.01

(2)常時参加者登録承認

小形 好弘

日本原子力発電

高田部会長の任期（2期目）が今月までであることから、部会長の選出をWeb無記名投票で実施した。この結果、高田委員が過半数を獲得し、部会長に選出された。また、副部会長に桐本委員、幹事に竹下委員、沼田委員、水野委員、山中委員が指名され、それぞれご挨拶をいただいた。

(3)【報告・審議】

“原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集”  
技術レポート原案に関する標準委員会でのコメント受け付け結果について

(担当：事務局，地震 PRA 作業会 根岸幹事，高橋委員，原口委員)

事務局から資料 RKTC71-3-1 に基づき，標準委員会のコメント受け付けの結果，意見が無かったことが説明された。審議の結果，この技術レポート原案について内容を承認することが決議された。本件については次回の標準委員会に報告し，発行承認の付議をする。

特に質疑，コメント等は無かった。

(4)【報告・審議】

“外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X” 改定原案に関する  
公衆審査の結果について

(担当：事務局，外的事象 PRA 分科会 片桐委員)

事務局から資料 RKTC71-4-1 に基づき，公衆審査において意見の提出は無かったことが説明され，引き続き，説明者から資料 RKTC71-4-2～3 に基づき，軽微な修正等の説明があり，審議の結果，この内容で次回の標準委員会へ報告することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(5) 【報告・審議】

“外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き：202X” 技術レポート改定原案に関するコメント受け付け結果及びその対応について

(担当：事務局，外的事象 PRA 分科会 片桐委員)

事務局から資料 RKTC71-5-1 に基づき，コメント受け付けの結果，2 名の委員から意見があったことが説明され，引き続き，説明者から資料 RKTC71-5-2～4 に基づき，受け付けた意見への対応について説明があった。審議の結果，コメント対応を承認し，次回の標準委員会に報告することが決議された。

特に質疑，コメント等は無かった。

(6) 【報告・審議】

“原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X” 標準改定原案に関する中間報告について

(担当：外的事象 PRA 分科会 断層変位 PRA 作業会 酒井幹事)

説明者から資料に基づき，題記標準に関して中間報告され，審議の結果，この中間報告資料について 30 日間の意見募集を実施することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：4 頁には新知見等の扱いに対して「附属書と解説の充実をはかる」と記載があるが、次の 5. では同様の記載に対して附属書だけの記載となっている。整合をとる必要があるのでは？

A：同じ表現が入るべき部分なので、標準委員会での中間報告の際には修正して説明します。

(7) 【報告・審議】

“原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：2016”における適用評価事例集及び標準の階層化に関わる改定のための作業会の再構成について

(担当：外的事象 PRA 分科会 津波 PRA 作業会 桐本幹事)

説明者から資料に基づき，津波 PRA 作業会の再構成について説明があった。審議の結果，この内容で作業会を再構成し，本日のコメントを反映のうえ，次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：1 月から作業会の検討を開始しているとなっているが，2 月からと記載した方がよいのではないか。最初の技術レポートの報告は 2025 年 8 月ではないか。

A：拝承し、修正させて頂きたい。

C：先に技術レポートを発行して，次に標準の改定となるので，技術レポートが改定された後の標準でもうまく読めるように考慮するとよい。

A：拝承する。標準の改定は適用事例から得られた知見による要求事項の最適化も行っていく。適用事例作成の後半と並行して開始するため、改定版とも整合するように進めていくことを考えている。

C：5 か年計画への反映・修正が必要と思われる。(3 か所)

A：本趣意書のスケジュールに合わせて 5 か年計画に反映する。

Q：委員の候補についてはほぼ固まっているか。標準委員会報告までに最新にする必要がある。

A：本資料の時点では不記載の人員も含め、17 名の委員候補と 4 名の常時参加者に承諾を頂いている。また、規制庁からも名前はこれからだが委員として 2 名参加する旨の連絡を頂いた。標準委員会の資料にはこれらを反映して競りした上で資料を提出する。

C：規制庁からの委員参加が得られたことは非常に重要である。活発な議論を期待したい。

(8) 【報告・審議】

JIWGの活動状況報告について

(担当：JIWG 西村コーディネータ)

説明者から資料 RKTC71-8-1 に基づき、JIWG のメンバーの変更案について説明があり、審議の結果、メンバー追加が決議された。また、資料 RKTC71-8-2 に基づき、活動状況について説明があった。特に質疑、コメント等は無かった。

(9) 【報告】

標準策定5か年計画の更新（2025年度版作成）について

(担当：竹下幹事)

説明者から資料に基づき、標準策定 5 か年計画の 2025 年度版の案について説明があった。審議の結果、必要に応じ最新状況を反映のうえ、次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

Q：レベル1 PRA と地震 PRA は階層化実施済ではないか。

A：修文する。

(10) 【報告】

倫理教育の実績について

(担当：山中幹事)

説明者から資料に基づき、専門部会、分科会、作業会の倫理教育の実施状況について説明があった。特に質疑、コメント等は無かった。

(11) 【報告】

分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

資料に基づき、分科会及びリスク情報活用検討タスクの活動状況について確認した。特に質疑、コメント等は無かった。

6. その他

- (1) JIS Z 4001 の廃止への対応について、事務局から資料 RKTC71-参考3 に基づき、標準活動基本戦略タスクにおける検討状況について紹介があり、桐本副部長から補足説明があった。主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：JIS Z 4001 の廃止は確定なので、今後の標準の制改定においては、引用できないので留意のこと。

Q：今後は共通的なものを標準委員会の用語集に取り込むとかが良いかと思うが、そのような予定はあるか。

A：リスク専門部会では共通用語の標準で各標準の共通用語の整理をしているので、引き続き標準委員会の用語集に提供していく。

- (2) 本日が専門部会への最後の出席となる丸山委員から退任のご挨拶をいただいた。

- (3) 今後の予定

次回は、2025 年 5 月 15 日（木）13：30 からの開催とした。

【配付資料】

- RKTC71-0 第 71 回リスク専門部会議事次第
- RKTC71-1 第 70 回リスク専門部会議事録（案）
- RKTC71-2 人事について（案）
- RKTC71-3-1 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集”技術レポート原案のコメント受け付け【SC24-12】について
- RKTC71-3-2 “原子力発電所に対する地震を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準の評価適用事例集”技術レポート原案（完本版）
- RKTC71-4-1 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”に関する公衆審査の結果について
- RKTC71-4-2 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：202X”（公衆審査結果の報告及び制定・発行について）
- RKTC71-4-3 “外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準：2025”（改定原案 完本版）
- RKTC71-5-1 “外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き：202X” 技術レポート改定原案に関する意見募集【RKTC24-05】の結果について
- RKTC71-5-2 “外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き：202X”（最終報告で受けた意見への対応について）
- RKTC71-5-3 技術レポート（最終報告版）へのご意見・気付き事項の反映について
- RKTC71-5-4 “外部ハザードに対するリスク評価手法に関する手引き：2025” 技術レポート（完本版）
- RKTC71-6-1 （中間報告）“原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準”（断層変位 PRA 標準）20XX
- RKTC71-6-2 “原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準”改定版 対比表
- RKTC71-6-3 “原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X”（標準改定原案 完本版）
- RKTC71-7 標準委員会 リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会 津波 PRA 作業会の再構成及び“原子力発電所に対する津波を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：2016”における適用評価事例集及び標準の階層化に関わる改定について
- RKTC71-8-1 JIWG メンバー名簿（変更案）
- RKTC71-8-2 Topics of Japan IWG\_Feb2025
- RKTC71-9-1 リスク専門部会 標準策定 5 か年計画（2025 年度版）
- RKTC71-10 倫理教育の実施状況（リスク専門部会・分科会）
- RKTC71-11 分科会の活動状況について

参考資料

- RKTC71-参考 1 リスク専門部会委員名簿
- RKTC71-参考 2 リスク専門部会出席実績
- RKTC71-参考 3 JIS Z 4001 廃止に伴う今後の標準への対応について

以 上